

令和5年11月号掲載

男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

働き方改革において、ワーク・ライフ・バランスもより一層意識するようになり、女性の社会進出も徐々に進んできています。内閣閣僚人事の女性採用・医師や車掌・トラックの運転手・土木技術者等、女性が働く分野も多々ありますが、男女共同参画社会は、まだまだ進化を続けなければならないところではあります。

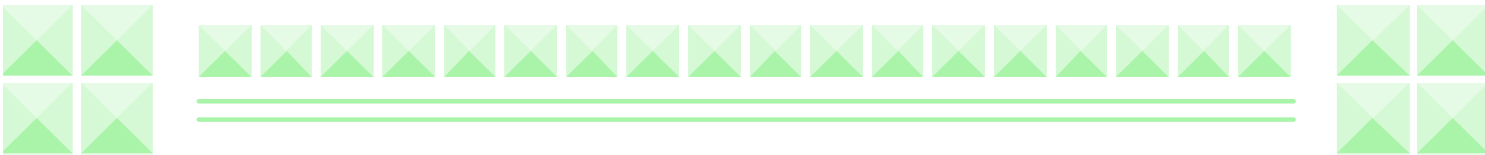
そうした中で、次代を担う理工系女性人材の育成として、女子中高生の理工系分野への興味関心を高め、適切な理系進路の選択を可能にするため内閣府による「夏のリコチャレ2023～理工系のお仕事体感しよう！～」が開催されました。

Q101 「夏のリコチャレ2023」の内容を教えてください。

A101 1. 理工系分野における女性活躍の現状

本格的な人口減少社会を迎える中、理工系分野における女性の活躍は、世界最先端の科学技術立国を目指す我が国が、持続的な成長を確保し、さらに、多様性によるイノベーションの創出によって社会の様々な問題解決を図る上で、極めて重要です。しかしながら、我が国における女性研究者の割合は17.8%（※1）と、諸外国に比べて低い水準に留まっています。また、大学学部生における女性比率も、理学系で27.8%（※2）、工学系で15.8%（※2）と大きな偏りが見られます。

これに関し、内閣府が令和3年度に実施した調査研究において、幼少期から体験やイベント等を通じた理工系分野への興味を深める機会の創出や、理



工系分野への進学・職業イメージなどについて、幅広く具体的な情報提供を行うこと等が有効であるとの調査結果が得られました。この結果も踏まえ、内閣府では、理工系の職業や面白さに触れることができる機会を提供することで、女子生徒等の理工系分野への進路選択や理工系職業に対する理解の促進と興味の喚起を図り、次代を担う理工系女性人材の育成を目指すこととしています。

※1 総務省「科学技術研究調査」（令和4年）参照

※2 文部科学省「令和4年度学校基本調査」参照

2. 開催実績

■開催期間：2023年6月～9月

■実施団体数・イベント数・参加者数

合計：96団体、161イベント、4千名以上(集計中)

〈実施団体内訳〉

企業：47、大学等：19、


学術団体・その他：30

■主なイベント内容

〈企業〉

- ・職場見学、工場見学
- ・職業体験、ワークショップ、実験
- ・先輩女性社員との交流 等

〈大学〉

- ・実験教室
 - ・サマースクール、サイエンスキャンプ
- 

- ・シンポジウム、セミナー
- ・女子学生質問会、オープンキャンパス等

〈学術団体、その他〉

- ・実験教室、体験学習
 - ・1日インターンシップ
 - ・シンポジウム、交流会
- 等

今年度は実地でのイベントも多く行われ、オンラインと実地のハイブリッド開催の企画も実施されました。各団体がイベント形式に合わせた様々な工夫をされていました。

3. 参加者の声

「昔からの夢に向かって挑戦する姿や、家庭との両立の実現など今後の参考になる話を聞いて良かった。」

「理系の進路は研究職だけでなく、幅広い選択肢があるということを知ることができた。」

「得意な科目で理系を選ぶわけではなく、好きなことを優先していいと知って肩の力が抜けた。」

「普段できないことを体験し、当たり前だと思っていたことが当たり前ではないことに気づくことができた。」

「大学について生の声を聞くことができ、今後の進路選択に行かせそうです。とても貴重な機会をいただけて本当によかったです。」

「女性社員だから…ということではなく、チームや仲間として、他の社員と関わっていけることを知りました。」

「(保護者からの声)自分も数学が苦手な娘の理系進学は無理だと思っていたので、進路選択前にこういう話を聞けるのはとても良いと思った。」

【夏のリコチャレ2023イベントの様子】



電気通信大学匠ガールプロジェクト
「夏休みは電通大でラボ体験2023
(電気通信大学)



建設技術の最先端を体験しよう！
(株式会社 大林組)



クラウドで「作って」みよう！一日IT
エンジニア体験(Advanced コース)
(Amazon 夏のリコチャレ実行委員会)

参加者の声からもわかるように、職場見学、仕事体験、女性技術者や研究者との交流など、理工系の仕事等の体験を行うことで不安が取り除け、進路選択の幅を広げることにより、将来性を深められたことと思います。

今後は、女性の職業面での更なる活躍に期待したいものです。

資料出所 共同参画 2023年10月号